

指導のポイント

監修：白梅学園大学大学院／無藤 隆

執筆：共立女子大学／白川佳子(ねらい)

東京家政学院大学／和田美香(導入・展開の言葉かけ)

國學院大學／吉永安里(小学校へのつながり)



『キンダーまなびきっず』は、5歳の時期にふさわしい「考える力」が育つことを目指し、「ことば・かず・くふう」の3つの柱で、子どもたちが楽しく考えることができるようなページ構成になっています。子どもが日ごろの遊びや日常生活の体験をイメージし、自然に無理なく、楽しい気持ちで取り組めるように、「ねらい」「導入・展開の言葉かけ」「小学校へのつながり」のポイントを本書では紹介しています。保育の中で子どもたちと取り組む際に、ぜひご活用ください。

ことば（言葉・文字）

言葉のつかい方や文字の書き方、漢字の成り立ちについて楽しく学びます。

ことば P.4~5 頭音

ねらい 同じ音で始まる言葉を見つけながら語彙を増やすとともに、道をたどって直線を引く練習になります。

導入の言葉かけのヒント

「『あ』がつくものって、な～んだ」。このようななぞなぞで、頭音についての気づきを促します。子どもが言う言葉を書き出すなど、視覚で確認するとよいですね。

展開の言葉かけのヒント

「さっきの『あ』がつくもの、この絵の中にあるかな？『あ』で始まる言葉が、みんなのことを持っているよ。鉛筆の車で、道路を走ってみようか。道が途切れているところ、石や木で通れないところは戻ってね」こんな言葉で展開していくと、楽しみながら言葉に興味をもてるでしょう。

● 小学校へのつながり

頭音を取り出す力は幼児期のしりとり遊びにつながります。また「あ」「い」「う」……の頭音での語彙の分類は、索引で調べる、辞書を引くなど国語の学習へつながっていきます。



もじ P.10~11 ひらがな

ねらい それぞれの言葉を声に出して読んだり、文字をなぞったりしたあと、ひらがな書きにもチャレンジしてみましょう。

導入の言葉かけのヒント

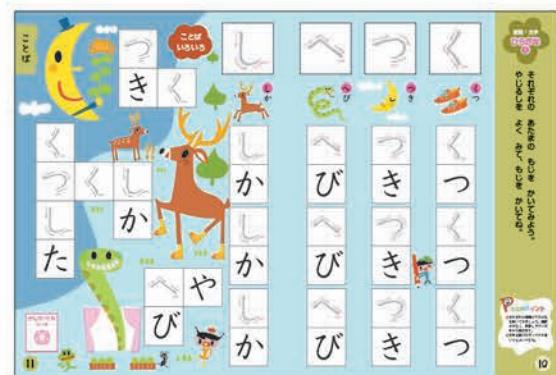
「知っている字はあるかな？」と問い合わせ、「しのちゃんの『し』だね、くみちゃんの『く』だね」と自分や友だちの名前と結びつけると、興味をもちやすくなります。

展開の言葉かけのヒント

「動物や物にも、名前があるよね。この絵の横に、そのお名前を書いてみようか」「『とめる』のところは、鉛筆がきゅっと止まるよ。『はねる』のところは、ジャンプするみたいだね。『はらう』のところは、つるんと滑っちゃうよ」などと言いながら、ていねいに書くように促しましょう。

● 小学校へのつながり

小学校では正しい姿勢で書くことが求められますが、姿勢だけに捉われず、「折れ」「曲がり」や「止め」「払い」などの筆先の動きの特徴を意識できるようにしましょう。



かんじえほん P.14 山

ねらい 絵を見ながら漢字の成り立ちに気づき、1年生で習う漢字に興味をもってもらうことを目的としています。

導入の言葉かけのヒント

「漢字って知っているかな？難しそうだけど、この絵の中にも漢字がかくれているよ。見つけられるかな？」など、かくれんぼの気分で進めると興味がもてるでしょう。

展開の言葉かけのヒント

「山に登ったこと、あるかな？」この漢字は、高い山と低い山が合体してできているよ。3つの山をなぞってみよう。最初は高い山、次は2番の山、最後に3番の山をなぞるよ。指で、山をお散歩してみようね」。このように子どもの経験からイメージできる展開がよいでしょう。

● 小学校へのつながり

1年生では「山」のように事物の形を簡略化した象形文字の漢字がたくさん出てきます。ととのった字形で書くことよりも、幼児期には元の形を想像する漢字のおもしろさを味わってください。



かず (数量・図形)

思考力や認識力の礎となる、数や図形の基本的な概念について楽しく学びます。

かず P.16~17 集合(仲間集め)

ねらい 仲間(概念)を見つけながら、絵の向き、形、大きさが違っても仲間であるということを学びます。

導入の言葉かけのヒント

「カエルさんが『仲間はどこかな?』と探しているよ。いっしょに探してあげようか。どこにいるかな?」というように、友だちを探すような説話をすると楽しいでしょう。

展開の言葉かけのヒント

「いろいろな色のチョウが飛んでいるよ。みんな同じチョウの仲間だけれど、色が違うね。黄色のチョウの仲間は何匹いるかな? 数をかぞえてみよう」と誘ってみましょう。かぞえたチョウを指で押さえながら確認してみると、仲間分けや数に対する意識がより高まるでしょう。

● 小学校へのつながり

「チョウ」も黄色だけでなく青やピンクもいて、それらを弁別したり、同じ「チョウ」だと認識したりする概念の分類や階層の理解は、語彙習得や图形の学習などにつながります。



すうじ P.22~23 数字(1~5)

ねらい 絵探し遊びを楽しみながら1から5までの数をかぞえたあと、1から5までの数字を書く練習をします。

導入の言葉かけのヒント

「縄跳びや滑り台で遊んでいるね。みんな楽しそうだね」と絵に注目するような言葉をかけ、「あれ、ここにも仲間がいるね。いっしょにかぞえてみようか」と説話をします。

展開の言葉かけのヒント

「見て! 上に数字が書いてあるよ。仲間の数が書いてあるんだね。なぞってみよう」と説話、筆順の見本を見せながらいっしょに書いてみるとよいでしょう。「数字の1は一本線だね。2はアヒルみたいだね」と、数字の形を認識するような言葉かけにより、楽しく書けるでしょう。

● 小学校へのつながり

数字は、書けるようになるだけでなく、量や順序など数のもつ意味を実感することがたいせつです。数字の「1」は1個分や1つ目を表すという理解が四則計算など算数の学習につながります。



かたち P.24~25 描写(縦・横)

ねらい 見本をよく見ながら線をつないで形を描くことで、ひらがなを書く前段階である運筆の練習になります。

導入の言葉かけのヒント

「夜になると星が見えるよね。昔の人は、星と星を線でつないで、星座を作ったよ。みんなも見本のように点と点をつないで、星座を作ってみようか」と説話をします。

展開の言葉かけのヒント

「線をつなぐと四角ができたよ。椅子のように見えるね」と形を意識するような言葉をかけると、子どもは点が線になり線が形になることを、改めて確認できるでしょう。「ゆっくりでいいから、よく見て書こうね」と声をかけ、落ち着いて取り組めるように配慮します。

● 小学校へのつながり

点をつないで形を描く活動は、9つの点でどんな形ができるかという图形の学習のみならず、運筆の向きや力をコントロールする、小学校で必要な文字を書く力の基礎を培います。



くふう (思考・創造)

自ら考え創意工夫する力(思考力・創造力)を養い、小学校での学びの土台を育みます。

くふう P.28~29 弁別

ねらい 左右の絵をよく見比べることによって、同じものと違うものを見分け、識別する能力を養います。

導入の言葉かけのヒント

「この2つの絵は同じかな? 違うかな?」「ぱっと見ると同じに見えるけれど、よく見てごらん……あれ? 少しだけ違うところがありそうだよ」と注意を促します。

展開の言葉かけのヒント

どこから注目してよいかわからなくて、なかなか集中できない子どもには、「端っこからひとつひとつ順番に見ていくと、違うところに気がつくよ」と声をかけます。場合によっては半分を隠して「この中に違うところはあるかな」と範囲を狭めて探してみてもよいでしょう。

● 小学校へのつながり

絵の弁別には注意力、記憶力、比較する力が必要です。国語の文章読解や算数の图形理解、理科や社会で物事や事象を観察し、比較する力につながっていきます。



くふう P.30~31 空間認識

ねらい 場所や位置を把握し対応させて、一つひとつの場所を確認しながら、空間を認識する能力を育みます。

導入の言葉かけのヒント

「マンションに住んでいるお友だちは、いるかな? 何階に住んでいるかな?」と、日常の生活や体験と関連づけると、よりイメージが具体的になり、興味がわくでしょう。

展開の言葉かけのヒント

「みんなで宅配便屋さんになって届けてみようか」と説話、「ピンポン、お届け物です~」など言いながらシールを貼ると、ごっこ遊びのような気分で楽しめるでしょう。「お届け先は1階ですか?」「お部屋は真ん中ですか?」などと確認しながら進めるといいでしょう。

● 小学校へのつながり

場所や位置を把握する活動を通して、右から何番目、上から何番目という順序を理解したり、平面や立体上の位置を特定したりする、算数で求められる力につながっていきます。



くふう P.32~33 関連性

ねらい 物の関連性を認識しながら迷路遊びを楽しむとともに、道をたどって直線を引く練習になります。

導入の言葉かけのヒント

「どんな乗り物に乗るかな?」「どんな食べ物が好きかな?」と質問をしたり、絵カードを分類したりする遊びから進めると、同じ仲間を自然に理解できるでしょう。

展開の言葉かけのヒント

迷っている子どもには「車に乗ってお出かけしたら、次は何に乗るかな?」「おにぎりを食べた後は、何を食べようか」「ネコの次にはだれに会うかな?」などと声をかけるとわかりやすいでしょう。「鉛筆のお散歩、さあ出発! 道からはみ出さないようにね」と促しましょう。

● 小学校へのつながり

物事や事象には特性があり、その特性の関連性を捉えて仲間分けする力は、国語の語彙習得や算数の图形の理解、理科の動植物の分類などさまざまな学習の基礎となります。

